

## (資料7) 等価係数の取扱

### 1. 平成18年度調査研究における取扱

- 平成18年度調査研究では、調査対象を拡大した「一般原価調査」に重点を置き、等価係数作成のための「特殊原価調査」は実施しなかった。このため本年度の部門別収支算定（三次配賦）においては、昨年度までに作成した等価係数を用いることとした。
- 具体的には、以下のルールに則って昨年度までの等価係数を使用した。
  - 平成17年度までに既に等価係数を作成しているサービス単位
    - …既に作成済の等価係数を標準化したもの（中央値）を使用
  - 平成18年度調査研究で新たに実施が確認されたサービス単位（平成17年度までに等価係数を作成していないサービス単位）
    - …活用可能な等価係数が存在しないため、他の既存の等価係数と診療報酬点数を用いた等価係数の推計値を使用

### 2. 等価係数推計の方法

- 上述のとおり、等価係数が存在しないサービス単位については、レセプト・データより算出される平均点数（1回当たり点数）を媒介に推計を行う方法を暫定的に採用した。この等価係数推計の考え方を整理すると図表1のようになる。

図表 1

コード (サービス 単位)	H18年度までの平均点数 (実績)				H17年度までの等価計数				等価計数/平均点数 (=α)				αの平均 = Avrg(α 10*)	推計 等価係数	
	A病院	B病院	...	H病院	A病院	B病院	...	H病院	A病院	B病院	...	H病院			
D100	a100	b100	...	h100	...	A100	B100	...	-	$\frac{A100}{a100}$	$\frac{B100}{b100}$	...	-	「D100」α 平均	
D101	-	b101	...	h101	...	-	B101	...	H101	-	$\frac{B101}{b101}$	...	$\frac{H101}{h101}$	「D101」α 平均	
D102	a102	b102	...	-	...	-	-	...	-	-	-	...	-	A・B病院合計の「D102」平均点数 ×「D10」α平均	
D103	a103	b103	...	h103	...	A103	B103	...	H103	$\frac{A103}{a103}$	$\frac{B103}{b103}$	...	$\frac{H103}{h103}$	「D103」α 平均	
D104	a104	-	...	h104	...	A104	-	...	H104	$\frac{A104}{a104}$	-	...	$\frac{H104}{h104}$	「D104」α 平均	
D105	a105	b105	...	h105	...	A105	B105	...	H105	$\frac{A105}{a105}$	$\frac{B105}{b105}$	...	$\frac{H105}{h105}$	「D105」α 平均	
D10平均														「D10」α 平均	
D200	a200	b200	...	-	...	A200	B200	...	-	$\frac{A200}{a200}$	$\frac{B200}{b200}$	...	-	「D200」α 平均	
D201	a201	-	...	h201	...	A201	-	...	H201	$\frac{A201}{a201}$	-	...	$\frac{H201}{h201}$	「D201」α 平均	

- 図表1の例では、サービス単位「D102」の等価係数を推計している。

(手順)

- ①他の「D10」で始まるサービス単位は等価係数が存在しているので、各サービス単位での「各病院の等価係数」と「各病院の平均点数」の比( $\alpha$ )を求める。

(H17年度までの病院毎の等価係数が、それぞれの診療報酬区分の平均点数(実績)の何倍になっているかを求める)

- ②病院毎の等価係数と平均点数の比( $\alpha$ )をサービス単位で平均する。

- ③その $\alpha$ の平均値を「D10」全体で平均する(「D10」 $\alpha$ 平均)。

- ④これに既知の値である「D102」の平均点数<sup>※1</sup>を掛け、等価係数の推計値<sup>※2</sup>とする。

(診療報酬区分「D10\*」全体での等価係数と平均点数の比の平均が、等価係数のないサービス単位についても成り立つものとして算出する。)

- ※1 図表1「D102」の平均点数は、「D102」サービスを提供しているA病院、B病院全体の平均点数となる。

(「D102」平均点数 =  $\Sigma$  (D102の各サービスの点数×回数) / 総回数)

- ※2 今回の等価係数の推計値は、「既存の等価係数と点数との関係(比)」の平均から算出したものである。この「既存の等価係数と点数との関係(比)」の算出に使用する等価係数については、より多くの病院データを反映させることが望ましいとの観点から、サービス毎の「標準的等価係数(中央値)」を用いるのではなく、「既存の各病院の等価係数」を用いることとした。

(「標準的等価係数」はサービス種類毎の中央値であるため、これを用いると「等価係数と点数との関係(比)」に反映される病院は限定されることになる。)